

令和7年度 第33回庁議要点記録

日 時：令和8年3月19日（木）午後3時30分～3時40分

場 所：庁議室

出席者：市長、橋本副市長、塩野目副市長、教育長、政策部長、公共施設マネジメント担当部長、総務部長、市民生活部長、健康部長、福祉部長、子ども家庭部長、まちづくり部長、建設環境部長、教育部長、政策経営課長、議会事務局長、秘書課長、会計管理者心得

議 題

○令和8年度市政運営の基本方針について

○報告事項

①人事異動について

○その他

橋本副市長： 令和7年度第33回庁議を開催します。本日の議題は、令和8年度市政運営の基本方針について、報告事項1点及びその他です。

令和8年度市政運営の基本方針について、政策経営課長から説明をお願いします。

政策経営課長： この後、人事異動の内示があり、来年度の体制が示されることとなりますが、各部においては、令和8年度の運営方針と組織目標の作成準備をお願いします。

なお、作成の進め方の詳細については、4月早々に令和7年度組織目標の達成状況の作成依頼と併せて、掲示板に掲載する予定です。説明は以上です。

橋本副市長： 担当から説明がありました。御意見・御質問はありますか。この市政運営の基本方針を踏まえて、4月中に正副市長の、教育委員会については教育長の懇談会を必ず開催するようお願いします。よろしいですか。

続いて、報告事項①人事異動について、職員課長から説明をお願いします。

職員課長： 各部署の異動規模について、市長部局は合計443名、議会は合計3名、監査事務局は合計2名、教育委員会は合計29名です。

なお、市長部局の異動のうち、302名は組織改正に伴う所属名の変更対象者となりますので、差引きした141名は部署異動があった職員数です。これを加味して市長部局141名、議会3名、監査事務局2名、教育委員会29名、合計175名が異動になります。

職層の内訳については、各部署の通知文を確認ください。また、新規採用職員22名は、4月7日までの研修の翌日から配属を予定しています。

なお、今回の内示については、庁議終了後、掲示板に掲載する予定です。また、再任用職員、月額会計年度任用職員の内示も、正規職員の内示に続けて行う予定です。説明は以上です。

橋本副市長： 担当から説明がありました。御意見・御質問はありますか。よろしいですか。なければ、その他各部からありますか。よろしいですか。

今回の人事異動に伴って管理職の異動がかなりあります。職員服務規程第12条に様式第4号で事務の引継ぎ事項が書かれていますので、しっかりと文書で引継ぎし、課長においては部長に、部長においては副市長に、引継ぎの内容を提出してください。

係長以下の職員は、課長の判断で場合によっては口頭や、文書でも構いませんのでしっかりと引継ぎを行って、4月1日に事務の停滞が起こらないよう、手続をお願いします。最

後に市長をお願いします。

市長： 市政運営では、これまでを引継ぎながらも自分として何を一番に変えていくのかについて、令和8年度に向けて皆さんに改めて認識していただきたいのは、やはり変化です。

当市は持続可能ではあり得ないし、現状維持ではいけないなど、これまでも様々な場面で述べてきましたが、令和8年度市政運営においては非常に重要な要素であると考えています。

繰り返しとなりますが、経常経費については既存の方法に健全な疑いをもち、市民サービスの向上とそれを持続可能にする市政の体制を整えることを両立させることが最終的な目標です。現在の皆さんのパフォーマンスや進め方が悪いという意味ではなく、現在の仕事の進め方をどのように改めて効率性を高めていくことが、結果としてほかのアウトプットにつながっていきます。さらには現在取り組んでいる事業も持続可能なもののできるのかという観点で、全庁的に仕事の進め方そのものをゼロベースで皆さんと共に進めていきたいと思っています。

人事異動では、今回は特に部長について、課長も含めかなり大規模な異動になります。これは昨年来の組織改編も踏まえた上での決断ですが、意図するところは、皆さんそれぞれが取り組んでいたことに不満があるからではなく、先ほどの市政運営の話でもありましたが、変化や成長する組織をDNAとしてこれから国分寺に植え付けていきたい、また、皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っています。

その意味で、皆さんには人事異動にしっかり取り組んで、成功させてもらいたい思いも強いですが、さらに先々どのような人材を育てていけばいいのか、特定の分野のみに強い人間ではなく、市政全般においてしっかりと判断力と財政についても捉えられる人材を育成していかなければいけません。そのためには、まず頭からしっかり変えていくということで、今回特に部長職は大きな変更を行っています。

また、私自身着任してから各部に様々な形で指示し、ある意味道半ばのものが大変多い中で、皆さんには非常に御負担をかけるころだと思いますが、長い目で捉えていただき、皆さん自身が今まで取り組んできた仕事の大切な部分をしっかりと守りながらも、新しい分野、また新しい全体の考え方をより前に進めていただくことが、結果として国分寺市役所の職員のレベルを上げていくことにつながってくると確信します。

ただし、現実問題として今回大きく異動することで、瞬間的にはパフォーマンスが落ちる面や難しい面があると思います。それについては、副市長や教育長にバックアップをお願いしていきたいと思ひますし、必要であれば私自身が市長として、皆さんと共に前に進める覚悟ですので、ぜひとも非常に前向きな意味合いで捉えていただき、新しい国分寺市役所作りを一緒に進めていければと思っています。

私自身は9か月ほど皆さんと一緒に仕事をしている中で、市の職員に対しては非常に信頼を置いています。だからこそ、今回もこうした大きな変更を加えても、必ず良い形で消化して前に進める力に変えることができると判断して、大型の人事異動を行いました。

一方、毎年この規模で人事異動を実施するのかという、私の考え方や、進め方を示す第一歩になりますので、今後はどれだけの規模になるかはこの場で明言できませんが、当然に毎年行うつもりはありませんので、しっかりとその形を作って前に進めていきたいと思っています。課長以下の人事についても、この件をお伝えいただければと思います。一緒に頑張りましょう。以上です。

橋本副市長： 以上で庁議を終了します。